

子どもの意見を反映させた教育活動の推進

区立小・中学校では、子どもたちが表明した意見や考え、思いを尊重し、安心して表明できる場をより増やすための取り組みを実施しています。

今年度より新たに、小学校1校あたり20万円、中学校1校あたり30万円の予算を措置し、子どもたちが企画・提案した行事等を各校で行っています。

現在、取り組みを実施した学校数は、小学校で約19校、中学校で約7校です。

▼実施した主な事例（中学校）

・人権に関する講演会を企画（区立明和中学校）

明和中学校の生徒会では、人権活動が盛んに行われており、人権問題に詳しい講師を招いて講演会を実施することを企画。

生徒会本部役員を中心に、全生徒を対象に実施した人権課題アンケートの結果をもとに、現在講師の選定を行っている。

・アスリートによる講演会を企画（区立第七中学校・緑野中学校・中野東中学校）

生徒会がアスリートの一生懸命な姿や果敢にチャレンジし諦めない姿勢など様々な教訓を学ぶ講演会を実施することを企画。

【招聘した講師】 ジョシュ・ホーキンソン選手（バスケットボール日本代表）

杉本 美香選手（柔道 銀メダリスト） 阿部 一二三選手（柔道 金メダリスト）

子どもの意見を反映させた教育活動の推進

▼実施した主な事例（小学校）

・クリスマスコンサートを実施（区立中野第一小学校）

「あなたの夢をかなえますプロジェクト」と題し、クリスマスコンサートを実施。歌唱の専門家が、子どもたちのリクエスト曲や子どもたちも参加できる曲などを披露。

・子どもたちが作詞し、楽曲を製作（区立中野本郷小学校）

子どもたちが作詞し、中野を拠点として活躍する作曲家に曲の製作を依頼。作詞にあたって、区長の話聞いてみたいという子どもたちからの意見があり、区長によるキャリア教育も実施。



中野第一小学校のコンサートの様子（左）▶
酒井区長によるキャリア教育の様子（右）▶